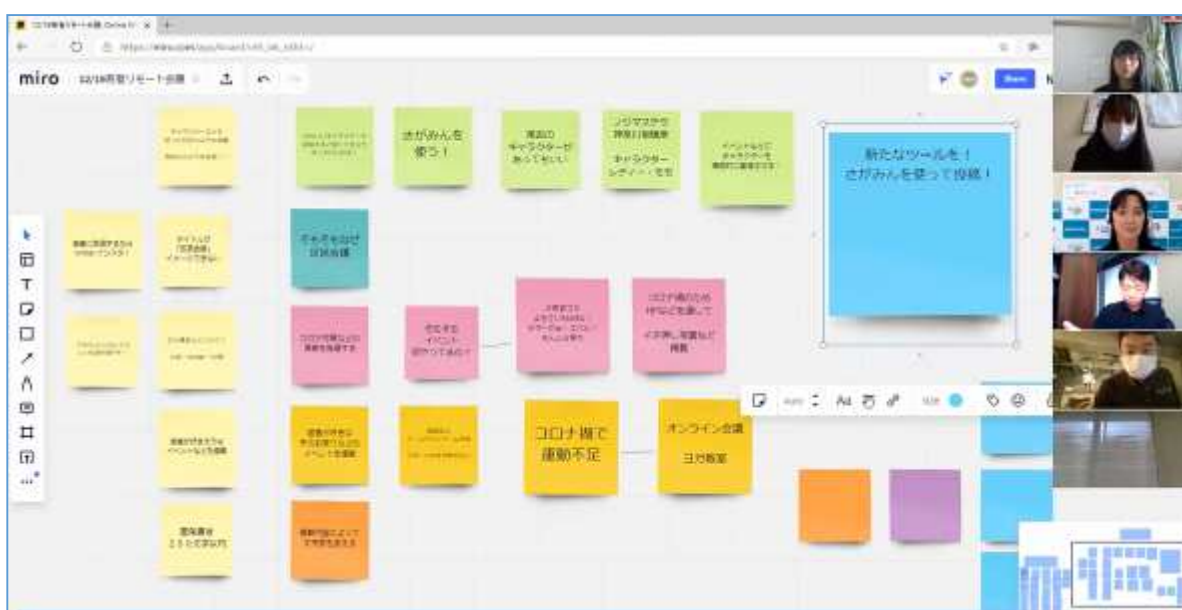


南区誕生10周年記念

若者リモート会議



開催結果報告書

《主催》

相模原市南区役所

1 事業概要・事業経過

(1) 報告書の位置付け

当報告書は、相模原市南区役所が主催した「南区誕生10周年記念若者リモート会議」の結果をまとめたものである。

(2) 開催の目的

この事業は、「新しい生活様式」の定着により、行政による情報発信や地域の魅力発信の必要性が更に高まるなか、SNSやインターネットに親しみがある若者世代の声を聴き、南区区民会議等の事業に反映させることを目的に開催した。

(3) 開催までの事務等の経過

11月10日(火)	「南区誕生10周年記念若者リモート会議」開催要項決定
11月16日(月)	市ホームページに参加者募集について掲載(～12月4日締切)
11月19日(木)	相模女子大学、北里大学へ参加者募集について協力依頼
11月20日(金)	女子美術大学へ参加者募集について協力依頼
11月24日(火)	令和元年度開催 無作為抽出型区民討議会参加者へ参加者募集についてメール送付
11月27日(金)	はたちのつどい実行委員会に参加依頼
11月30日(月)	ユニコムプラザさがみはらに参加者募集について協力依頼
12月7日(月)	南区若者参加プロジェクト実行委員会委員に参加依頼
12月15日(火)	運営委託者 MichiLab との事前打合せ 参加者へ当日の課題等についてメール送付(1回目)
12月17日(木)	当日使用端末(5台)を情報政策課から借用 通信接続テストを実施 参加者へ当日のタイムスケジュール等についてメール送付(2回目)
12月19日(土)	「南区誕生10周年記念若者リモート会議」開催

(4) 周知方法

南区区民会議 Facebook ページ及び市ホームページに記事を掲載した。

(5) 討議結果の取扱い

討議結果は、参考資料として南区区民会議に報告をする。また、討議結果をすぐに区の事業として実施できそうな場合には、区政策課内で事業実施に向けて検討を行う。

2 開催結果

(1) 開催日時

令和2年12月19日(土) 午後2時～午後3時30分

(2) 参加人数

8名

(3) 参加者等の分析

ア 性別

男性：2名

女性：6名

イ 地域別

区内：4名

市外：4名(横浜市2名、藤沢市1名、大和市1名)

ウ 年代

主に20代の方が参加

(4) 参加者の経緯

ア 開催日までに欠席連絡があった者：1名

イ 当日欠席者：0名

ウ 当日参加者：8名

エ 傍聴者：3名(南区区民会議委員2名、大野南公民館職員1名)



3 討議内容

(1) テーマ

「これからの行政による情報発信について」

具体的には、南区役所が若者世代に向けた情報発信として運営している「相模原市南区区民会議 Facebook」を題材として、意見や提案などを出してもらうことを主旨に設定した。

(2) 進行内容

次のタイムテーブルで討議を行った。

開会	14:00	14:01
あいさつ	14:01	14:04
ルール説明	14:04	14:09
討議開始	14:09	14:10
自己紹介	<i>14:10</i>	<i>14:20</i>
課題点抽出	<i>14:20</i>	<i>14:40</i>
課題点まとめ	<i>14:40</i>	<i>14:50</i>
改善方法の検討	<i>14:50</i>	<i>15:10</i>
改善方法まとめ	<i>15:10</i>	<i>15:20</i>
最後に一言	<i>15:20</i>	<i>15:25</i>
閉会あいさつ	15:25	15:28
閉会、周知	15:28	15:30

前半(30分)

課題点抽出 課題点まとめ

南区役所区政策課が運用している Facebook ページ「相模原市南区区民会議」を事前に見た際の第一印象や、記事の内容などについて課題点を発表してもらい、出された課題からピックアップしたいものを選んでもらった。

後半(30分)

改善方法の検討 改善方法まとめ

前半討議で出た課題をどのように改善していくかアイデアを出していただいた。

4 討議結果

(1) 前半

課題点抽出における主な発言内容は次のとおりであった。

Facebook という媒体について

- ・若者は Facebook をあまり見ない
- ・今は Instagram が主流
- ・Twitter を使用した方がリツイートなどによって広がる可能性がある
- ・若者に発信したいなら Instagram か Twitter がよい
- ・若者(10、20代)の Facebook 使用率は約 15% に対し、Twitter は約 30%
- ・使用率が低いため、興味が無いと見ない

記事の内容について

- ・トップ画像が会議風景では、委縮する
- ・投稿記事の文字数が非常に多い
- ・箇条書きが必要である
- ・議事録のようで何か分からない
- ・シェア数が少ない(アカウントに対してのいいね!数が 500 程度)
- ・アカウントに対してのいいね!数を増やしたほうがよい

- ・区民会議の開催記事はあるが、結果が無い

その他

- ・若者団体などを Facebook で周知してはどうか
- ・見やすさを重視しないと見られない
- ・イベントの開催告知は見るかも
- ・若者が好きそうなイベントなどを投稿する
- ・Instagram などのリンク先から Facebook に誘導してはどうか
- ・そもそもなぜ「区民会議」なのかわからない
- ・普段、情報は「広報」、「Twitter」、「LINE」で見ている

(2) 後半

改善方法の検討における主な意見内容は次のとおりであった。

「今は Instagram が主流」

「Twitter を使用した方がリツイートなどによって広がる可能性がある」

「若者に発信したいなら Instagram か Twitter」

キャラクターなどを使った日記のような投稿（息抜きになるような投稿）

さがみんを使う

南区のキャラクターがあってもいい

イベントなどに積極的にキャラクターを登場させる

面白味のある記事を投稿

Facebook 以外の SNS ツールを使う

「普段、情報は『広報』、『Twitter』、『LINE』で見ている」

「アカウントに対してのいいね！数を増やしたほうがよい」

コロナ対策などの情報を発信する（市からの情報は信頼できる）

「イベントの開催告知は見るかも」

「若者が好きそうなイベントなどを投稿する」

若者が好きな市のお祭りなどのイベントを掲載

相模原市はホームタウンチームが多数ある。スポーツは年代問わないため、スポーツイベントなどを実施

コロナ禍で運動不足の人が多いため、オンライン会議でヨガ教室などを実施するなど、オンラインだからこそできるものを実施

南区在住者に参加してもらえよう情報発信する

「投稿記事の文字数が非常に多い」

「箇条書きが必要である」

掲載内容によって文字数を変える。（出来る限り少ない文字数）

(3) まとめ

SNS のツール、掲載内容、掲載方法に関する改善意見について、今後、実現可能なものは事業実施に向けた検討を行うこととする。